

しゆくさんぼう 粛 粂 寶 について

[明治35年(1902) - 平成6年(1994)]



明治35年新潟市西堀生まれ。本名は水島太一郎。花鳥風月・人物画など独特の画風を構築し、高い人気を博した。上京後、洋画家の黒田清輝に学び、のち日本画家の小林古径に学ぶ。帝展・院展入選。奈良の古寺での寄食生活を経て、再び作家活動に入り、以降没するまで60年近く画業一筋の人生であった。



交通のご案内

■バスで

- 新潟駅(万代口)より (【1~3】全て▶「西大畑坂上」下車徒歩5分)
- 【1】新潟交通バス(C20)『浜浦町経由西部営業所行』
- 【2】新潟交通バス(C21)『浜浦町経由信濃町行』
- 【3】新潟交通バス(C22)『水族館前行』

●新潟交通バス

「東中通」下車徒歩15分

■タクシーで

新潟駅(万代口)より約15分

■徒歩で

古町十字路より徒歩15分

■自動車で

- 【1】日本海東北自動車道新潟亀田ICを下り、柳都大橋経由約25分
- 【2】国道8号線(新潟バイパス)桜木ICを下り、昭和大橋経由約20分
- 【3】国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを下り、柳都大橋経由約20分



利用案内

- 開館時間** 午前10時00分～午後5時30分 (入館は5時まで)
※特別イベント開催や季節等により開館時間を変更する場合がございます。
- 休館日** 月曜日 ※祝日または振替休日が月曜日の場合はその翌日。
展示替え期間

観覧料 (2F・第1展示室のみ)

※展覧会により異なります。

	個人	団体(20名以上)
大人	400円	300円
専門学校生・大学生	300円	200円
高校生以下	無料	無料

※学生の方は学生証等の提示をお願い致します。

これからのアートを創る

NSG美術館

〒951-8101 新潟市中央区西船見町5932番地561
TEL : 025-378-3773 FAX : 025-378-3772
メールアドレス : nsg-artmuseum@nsg.gr.jp
ホームページ : <https://www.nsg-artmuseum.jp>

これからのアートを創る
NSG美術館



展覧会スケジュール
2025.4~2026.3

芸能生活60周年記念 小林幸子 ふるさと凱旋衣装展 ～ラスボスのキセキ～

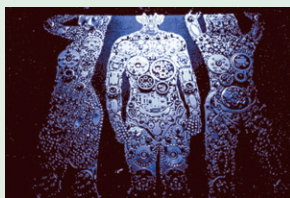
2025年3月20日(木) ▶ 8月24日(日)



新潟出身の歌手小林幸子さんは、歌謡界のラスボスともいわれ一時期は紅白歌合戦の巨大で華麗な衣装も話題となった。昨年、芸能生活60周年を迎え新潟でも節目のステージやショーなどが行われた。幸子さんの魅力を、紅白歌合戦や数々の場面で、見る人に驚きと感動を与えた衣装とデザイン、パネルでたどる60年の軌跡。そして故郷新潟と小林幸子とそれぞれのテーマで展覧いたします。

中原一磨展 ～万華鏡～

2025年9月6日(土) ▶ 10月13日(月)



80年の歴史を重ねる県展で7部門すべてに入選入賞を果たした人は多くはない。写真と日本画は無鑑査である。もともと高級家具の販売を仕事とし、のちに工芸品、美術作品も扱うようになった。40歳頃に写真から作品発表が始まった。師はいない。永年の仕事を通じて美のセンスを磨いてきた。出会った事象に閃きを感じそれを創作する。7部門のいずれの作品にするかは最初の閃きで決まる。家中を埋め尽くす作品の中から作品を選び出し見ていただきます。

第40回新潟デザイン専門学校 卒業制作・修了制作 ーデザイン展ー AUTUMN SELECTION

2025年10月25日(土) ▶ 11月3日(月)



2025年2月に新潟市民芸術文化会館でデザイン展を開催。1年間の集大成としてこれまで学んだ事を活かし、卒業制作・修了制作として企画案からデジタル・アナログなどの様々な表現・展開をした作品が並ぶ。各学科内でプレゼンテーションを行い「優秀賞」「作品賞」「特別賞」に選ばれた作品と2月のデザイン展で「優秀賞」作品の中から審査され受賞したグランプリ作品や協賛社賞作品も展示される。

NSG美術館 展覧会スケジュール

※展覧会準備期間は完全休館となります。

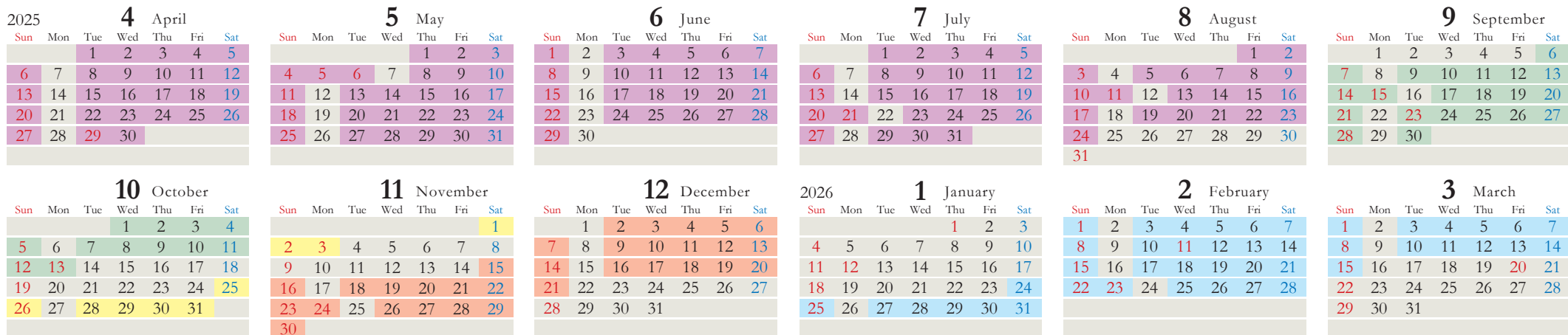
芸能生活60周年記念 小林幸子 ふるさと凱旋衣装展～ラスボスのキセキ～

中原一磨 ～万華鏡～

第40回新潟デザイン専門学校卒業制作・修了制作ーデザイン展ー

式場庶謳子展 ～心を伝える～

肅祭寶展 ～植物を描く～



式場庶謳子展

～心を伝える～

2025年11月15日(土) ▶ 12月21日(日)



本名は昭子、42歳のとき母の死を契機に、庶民の思いを謳う作品を作りたいと心に記し、庶謳子と名乗った。彼女は、作品のイメージを思いそれが頭の中に詩となり下絵に描く、そして彫り出す。大作の摺りは床の上で足や体全体を使い仕上げる。作品には親愛、希求、感動など言葉に尽くせない諸々の感情があふれ出て、知らず知らずのうちに人の心を揺さぶる。60年に及ぶ版画作品の数々を展覧します。

肅祭寶展 ～花と実りを描く～

2026年1月24日(土) ▶ 3月15日(日)



肅祭寶は新潟市西堀界限出身の昭和の一時代人気を博した異能な日本画家です。花鳥風月や仏画、人物などを中国的画風で描き、絵に添えられた賛は仏典や中国古典の造詣をもとに独特な書体とともに見る人を魅了します。今回は所蔵する作品の中から富貴や豊穡を現す花や果実、野菜など植物画にスポットを当てた展覧会となりました。

